第３２２回

株式会社テレビ新潟放送網

放送番組審議会

1　開催日時　平成 27 年 10 月 26 日（月）午前 11 時 00 分より

2　開催場所　テレビ新潟　会議室

3　委員総数　９人　　出席委員８人

出席委員

豊口　　協	委員長	大矢　純一	副委員長
村松　　敦	委員	春日　貴光	委員
碓井　真史	委員	原田　健一	委員
大久保　千春	委員	田村　明子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	室川　治久
常務取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	須佐　博樹
取締役（報道・制作・技術・国際担当）	平野　真一
執行役員報道制作局長	稲田　裕之
報道制作局次長兼制作部長	小木　裕介
報道制作局　合評番組プロデューサー	鈴木　英門

事務局　　増子　隆　　水野　明子

4　議　題

１）番組合評

「いますぐ行きたい！にいがた極上旅」

〔放送：9 月 26 日（土）10:30-11:25〕

（説明　：　番組プロデューサー　鈴木　英門）

２）会社報告

①放送番組の種別報告及び放送番組の種別ごとの放送時間報告

［2015 年 4 月～2015 年 9 月］　（報告：編成進行部長）

②10 月期基本番組と番組種別　（報告：編成進行部長）

③９月の視聴者の意見　（報告：番組審議会事務局）

④講じた措置、公表など定例報告等（報告：番組審議会事務局）

３）その他

5　審議の概要（委員の意見）

会社側から、番組の企図が新潟県観光キャンペーンの宿泊優待募集促進であり、番組では普段中々できない贅沢な旅を、場所と旅人を替えた３つのパターンで紹介したもので、福島県と長野県でも放送した、という説明があった。

●旅グルメ番組が大好きなので、“極上旅”がどんなものか楽しみに見た。短い時間で、３組３様、見どころ満載で楽しめた。

●このようなテンション高めの旅番組が苦手。この手の旅番組がとても多いが、例えば、旅雑誌ライター等の情報を入れ込むなどの工夫があると、落ち着いてみることができるのだが。

●全体的に急ぎ足の感があった。ロケ先も、佐渡は朱鷺に砂金と修学旅行的。地味でも良いところがもっとあると思う。

●魚沼と佐渡というメジャーなエリアはどちらかひとつでよかったのではないか。内容的にも、親子旅や女子旅は普通とは異なる、面白くする仕掛け・工夫がほしかった。

●芸人コンビの旅では声を出して笑えた。作り込まれた笑いではなくて、なにげない一言に爆笑でき、幸福感に繋がった。

●参考になるもの、ならないものが混在していた。番組冒頭で観光キャンペーンの内容や長野と福島でも放送されることが伝えられれば、「なるほど」と思うところが多かったはずだ。

●車内映像が見づらかった、工夫の必要があったのではないか。

●旅番組の差別化は難しいと感じた。コンセプトが伝わるように制作することが大切であり、地元ローカル局だからこその材料を盛り込んで、噛みごたえある内容で差別化してほしい。

●佐渡の魅力は朱鷺や景色だけではなく、歴史・時を経た自然環境・文化・伝統芸能を扱う内容で県内外にＰＲするべき。

●番組タイトルを見て期待したが、全体的にがっかりした。紹介された場所・食べ物・会話は物足りなく、もっと良い場所・食べ物、面白い会話があったはずだ。

●全体のストーリーは一人？それとも分担したのか？内容のレベルが全部違う。親子旅も女子旅も設定はよいと思うが、旅のアイテムに問題はなかったか。性格の異なる３組の整合性をどうするか、難しかったのではないか。

6　会社側の報告

１）放送番組に関して申し出のあった意見の概要

９月……　２２１件

２）訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成２７年９月２８日）から 昨日(平成２７年１０月２５日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7　審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置

１）　前回、第３２１回審議会では、「生中継！長岡花火ｉｎハワイ～真珠湾に咲く平和の大輪～」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

２）番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8　今回の第３２２回放送番組審議会の公表

１）　テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

２）当社のニュースで審議会の概要を放送します。

３）インターネットのＴｅＮＹホームページに議事概要を掲載します。

9　参考事項（委員への配布資料）

・９月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表

・民間放送新聞（10/3、13 号）・ＢＰＯ報告　NO.154

以上